



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

1 1 月号

令和8年10月30日

さいたま市立与野本町小学校

人は見てもらうことで、さらに輝く

校長 小野圭司

私が中学生の頃、合唱祭がありました。普段の練習では、周りの友達のことが気になり、思春期だったこともあって、なかなか真剣に取り組めなかった記憶があります。しかし、本番では周りのことが気にならず、観客に向けて精一杯歌い切ったことを今でも覚えています。

10月27日（火）、雨天延期となった運動会を好天のもと実施することができました。当日は多くのご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にご来場いただきました。子どもたちは、適度な緊張感の中で演技や競技に臨み、その力を存分に発揮していました。

私は子どもたちの姿を見ながら、先ほどの自分の経験を思い出していました。本校の子どもたちの中にも、普段は少し照れたり、周囲の目が気になったりする子がいることでしょう。しかし、本番の様子は練習の時とは明らかに違っていました。子どもたちは、自分たちの成長した姿を届けたい人たちの前で、いつも以上の力を発揮していたのです。その姿は、実に生き生きとしており、ひとときわ輝いて見えました。

本校では、運動会やニコニココンサートを土曜日に実施しています。その大きな理由の一つは、子どもたちのがんばる姿を、多くの方々に見ていただきたいからです。教職員は日々の指導や支援を通して子どもたちの力を伸ばそうと努めていますが、練習だけで高められる力には限りがあります。しかし、本番という舞台上、家族や地域の方々に見守られながら活動することで、子どもたちは練習以上の力を発揮し、大きく成長することができます。

また、運動会当日は最終練習日から3日間空いていたため、高まっていた動きの質が少し下がるのではないかと心配していました。しかし、それは杞憂でした。子どもたちは本番の舞台上、これまでの練習の成果を存分に発揮していました。改めて、人は誰かに見守られ、認められることで力を発揮し、輝きを増していくのだと感じました。

保護者の皆様には、ご家庭でもお子様と一緒に運動会を振り返り、そのがんばりをたくさん褒めていただいたことと思います。その経験は、お子様の自信となり、次の挑戦への原動力になっていくことでしょう。

これからも、お子様は様々な場面で努力を重ねていきます。勉強に取り組む姿、お手伝いをする姿、友達に優しく接する姿など、日常の中にも成長の瞬間があります。そうした姿に目を向け、そのがんばりを認めていただくことで、お子様は「自分を見てくれている人がある」という安心感をもちながら、さらに力を伸ばしていくことと思います。

ご多用のこととは存じますが、ぜひお子様のがんばる姿をたくさん見つけ、言葉にして伝えてあげてください。その積み重ねが、お子様のさらなる成長につながるはずです。